

令和 6 年度

事業報告
決算報告

赤十字は、動いてる！

SAVE365

一緒なら、救える。

あなたと想いをひとつにして。

— 目 次 —

令和 6 年度 事業報告

1	災害救護体制の強化	2
2	赤十字講習の充実	9
3	青少年赤十字の育成	12
4	国際活動の推進	14
5	救護看護師の養成	15
6	血液事業の推進	15
7	赤十字ボランティアの育成	16
8	効果的な広報活動の展開	25
9	活動資金の募集及び表彰制度	26
10	奈良県支部有功会	28

令和 6 年度 一般会計決算報告

1	令和 6 年度 一般会計決算報告	29
2	令和 6 年度 会費収入	30

参考資料

1	令和 6 年度 一般会費及び法人会費収納実績表・・・	31
2	令和 6 年度 火災・水害等による救援物資配布・ 弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況・・・	32
3	令和 6 年度 市町村別講習一覧	33

令和 6 年度 事業報告

I 災害救護体制の強化 -災害からいのちを守る-

令和 6 年度は、石川県能登半島で大雨による被害をはじめ、全国各地で豪雨や台風の影響による被害、山林火災など災害が頻繁に発生しました。

近年は大規模地震による災害等も頻発しており、近い将来には、南海トラフ地震の発生が危惧されています。

このため、いつどこで起こるか分からない災害に備え、関係機関とも連携して迅速・的確な救護活動ができるよう、救護班の編成と、訓練や研修の実施、救護資機材の整備を重点的にを行い、救護体制の充実強化に取り組みました。

また、昨年 1 月に発生した能登半島地震に対し、被災者支援活動や義援金の受付など、引き続き、被災者に寄り添った活動に取り組みました。

(1) 能登半島地震における被災者支援活動

仮設住宅入居者に対し、健康不安や孤立・孤独を和らげ、コミュニケーションの促進につながる支援活動をおこないました。

月日	活動内容	実施場所	派遣人数
1 24~ 26	レクリエーション、らくらく体操、リラクゼーション	能登町やなぎだ第 1 団地	安全法指導奉仕団 5 名 支部職員 1 名



▲仮設住宅入居者との交流

(2) 救護班の編成

地震や大型台風などによる自然災害などで被災された方々の医療救護を行うため、公的医療機関と協働で救護班を編成し、要員登録や訓練・研修に取り組んでいます。

名 称	班数	備考(覚書締結日)
奈良県総合医療センター	2班	平成 26 年 4 月 1 日 覚書締結 (地方独立行政法人 奈良県立病院機構)
奈良県西和医療センター	2班	
南奈良総合医療センター	1 班	平成 28 年 4 月 20 日 覚書締結
市立奈良病院	1 班	平成 26 年 4 月 1 日 覚書締結
大和高田市立病院	1 班	平成 26 年 9 月 1 日 覚書締結
奈良県立医科大学附属病院	1 班	平成 28 年 11 月 1 日 覚書締結
合計	8 班	

※1 班の体制:医師 1 名・看護師 3 名・薬剤師 1 名・主事 2 名 計 7 名

(3) 救護訓練

大災害に備え、各種救護訓練に参加しました。

主 催		実 施 日	訓練名称	会 場	支部参加者 (参加総数)
赤十字	奈良県支部	6月15日	第4ブロック(近畿) 合同災害救護訓練	和歌山県消防学校	25名 (560名)
行政	奈良県	10月20日	奈良県防災総合訓練	奈良市都祁 生涯スポーツセンター	20名 (1,000名)
		R7年 1月17日	奈良県保健医療調整 本部合同訓練	奈良県庁	1名 (90名)
		1月31日	奈良県国民保護共同 図上訓練	奈良県庁、大和高田市役所	3名 (190名)



▲第4ブロック(近畿)合同災害救護訓練
～避難所での巡回診療～



▲県防災総合訓練
～防災ボランティアによる患者搬送～



▲県保健医療調整本部合同訓練
～日赤災害医療コーディネーターによる情報収集～

(4) 日赤災害医療コーディネーター及びスタッフの登録

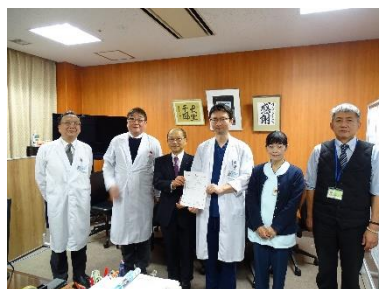
県内の災害時において、円滑に医療救護活動ができるよう被災地における医療ニーズを把握し、全国から支援に駆け付ける医療チームを効果的に調整することを目的に登録を行っています。

【医療コーディネーター・スタッフ一覧】

	南奈良総合 医療センター	奈良県立医科 大学附属病院	北和在宅救急 クリニック	奈良県総合 リハビリテーションセンター	奈良県西和 医療センター
コーディネーター (医師)		福島 英賢 浅井 英樹	関 匡彦		藤本 源
スタッフ (看護師)	高山 良光 福塚 一代	南田 哲平			村田 勝吾
スタッフ (薬剤師)	藤井 瑞基	松井 俊典 岡田 和也		西島 正人	井上 晃宏
スタッフ (主事)		植田 真弘			上村 義昌

※医療コーディネーターチームは、医師・看護師・薬剤師・主事(事務職員等)で編成し、各支部3チーム以上置くことになっております。

※支部職員1名が主事として登録しています。



▲日赤災害医療コーディネーター任命書伝達(奈良県西和医療センター)

(5) 救護体制強化のための研修

災害救護に必要となる最新の知識と技術の向上を図るため本社、ブロック主催の研修会に参加しました。また、奈良県支部と覚書を結んでいる医療救護班や職員を対象とした支部主催の研修会を実施し、救護班要員の知識や技術の習得に努めました。

月日		研修名称	主催	参加人数
		内 容		
5	19	支部救護班基礎研修会 ・赤十字の災害救護活動 ・災害医療体系的アプローチ ・避難所アセスメント	奈良県支部	42 名
7	5・6	日赤災害医療コーディネート研修会 ・日赤災害医療コーディネートにおける各段階での役割	本社	4 名 (奈良県西和医療センター 4 名)
11	23～24	・支部での医療コーディネート活動 ・平時における役割と準備		
8	5～6	全国救護班研修会 ・日本赤十字社の救護活動及び体制 ・広域災害・遠隔地派遣 ・水害時の支援と受援	第 4 ブロック支部	8 名 (奈良県総合医療センター 8 名)
10	10	救護資機材習熟研修 ・エアテント設営研修	奈良県支部	8 名 (支部職員 8 名)
11	28	・救護資機材取扱研修(ラップポン、ベッドなど)		
12	14	災害時における多様な主体間の連携を考えるフォーラム ・講演「大規模災害にどう備えるのか～普段・災害時のみんなで支え合う体制づくりとは～」 ・奈良県内の多様な主体間の連携・協働の現状と課題について	奈良防災プラットフォーム連絡会	1 名 (支部職員 1 名)
R7 2	15	災害医療コーディネートフォローアップ研修会 ・新たな研修プログラム改定後の伝達 ・能登半島地震における災害対応	本社 (WEB)	9 名 (奈良県立医科大学附属病院 5 名 南奈良総合医療センター 2 名 奈良県総合リハビリテーションセンター 1 名)
	22	BHELP 研修会 ・自ら生命を守るための行動と備え ・発災直後の指定救急避難場所での応急的対応 ・要配慮者の生命と健康を守るために ・避難所の生活環境アセスメント ・避難所で生じやすい健康問題と予防対策	奈良県支部	21 名 (奈良県総合医療センター 6 名 市立奈良病院 1 名 大和高田市立病院 4 名 奈良県立医科大学附属病院 3 名 支部・血液センター職員 7 名)
	28	被災者支援コーディネーター養成研修会 ・発災から 1 週間、1 ヶ月後の課題と解決策 ・平時の取り組みについて	奈良防災プラットフォーム連絡会	1 名 (支部職員 1 名)



▲全国救護班研修



▲救護資機材習熟研修



▲BHELP研修

(6) 救護資機材・救援物資の整備

南海トラフ地震などの大規模災害に備え、救護資機材・救援物資の整備を行いました。

(令和 4 年度から令和 6 年度までの 3 ヶ年計画)

【令和 6 年度に新たに整備した主なもの】

品 名	型 式 等	数 量	品 名	型 式 等	数 量
災害救援車	トラック いすゞエルフ	1 台	非常食	非常用保存食 (味噌汁、にゅうめん)	300 食
防災倉庫 (地区分区)	ヨド物置 エルモシャッター	10 台		保存用ようかん (えいようかん 5 本 入)	20 個
防災ヘルメット	IZANO II	30 個		安心米(白飯、ドライカ レー、五目御飯、わか めご飯)	400 食
救護員教材 蘇生法人体モデル	全身人形	8 体		美味しい防災食 (鯖味噌煮、きんぴら)	100 食
救護員教材 蘇生法人体モデル	乳児(4 体入)	4 セット	救護作業衣上	夏・冬用 上下	24 着



▲災害救援車(トラック)



▲防災倉庫(地区分区)



▲防災ヘルメット

① 救護資機材の整備

【奈良県支部】※()の数字は令和6年度に整備したもの

品名			数量	品名			数量
救護班 装備品	医療資機材携行用鞆(1セット4バック)		7	救護所 資機材	大型フレームテント		1
	救護班要員携行バック		30		エアertent(大型:ハイブリット式)		2
	大型救急箱		5		エアertent(小)		1
	パルスオキシメーター		9		組立式テント		6
	電子体温計(非接触体温計含む)		23		ワンタッチテント(大3・小4)		7
	ターニケット(止血帯)		50		プライベートテント		1
	自動体外式除細動器(AED)		3		間仕切り用プラテーション(2種類)		30
救護班要員 装備品	救護服:上下		206		簡易トイレ(ラップポン)		11
	ヘルメット		30		簡易トイレ用ワンタッチテント		12
	救護服:雨衣		30		自家発電機(ガソリンタイプ)		6
	救護服:防寒衣		30		蓄電池(大1・小2)		3
	救護服:Tシャツ		140		投光器		5
	防護メガネ		20		誘導灯		5
	救護員手袋		80		冷暖房機器 (冷暖房器:2、暖房器:1、冷房器:3)		6
	LEDヘッドライト		10		診察台		8
	懐中電灯		10		折畳式寝台		80
	ペンライト(ホルダー付)		30		簡易ベッド		6
	寝袋		50		傷病者用毛布		70
	万能ハサミ		20		スクープストレッチャー		3
	ホイッスル		50		担架		8
非常食(本部・救護班用)	アルファ米		427(400)		担架架台		6
	パン		87		組立式点滴架台		1
	ドライスूप(1種)		200(200)		電動吸引機		1
	にゅうめん		100(100)		LEDランタン		9
	惣菜(3種)		141(100)		拡声器		3
	携帯おにぎり		100		リヤカー(大・小)		各1
	水(500ml)		960		レスキューカー		2
	ようかん(5本入)		22(20)		フォークリフト		1
資機材 原子力対応	空間線量率測定用サーベイメータ		1		移動炊飯器		8
	防護服セット		6	通信 機器	業務用無線基地局(150MHz・		2
	デジタル個人線量計		7		業務用無線陸上移動局(車載機)(〃)		4
支援要員 資材	ボランティアユニフォーム		40		業務用無線陸上移動局(携帯機)(〃)		9
	ボランティア反射チョッキ		50		業務用無線現地基地局(可搬型)(〃)		2
	ボランティア帽子		50		アマチュア無線局		1
	ボランティアヘルメット		30(30)		室外設置用外部アンテナ(衛星携帯電話用)		3
	防寒衣		59		デジタル通信システム (D-STARレピーター)		2
	雨衣(白色・黄色)		50		特定小電力トランシーバー		10
車両 災害救護	災害通信指揮車(衛星電話搭載)		1		携帯電話		1
	救急車		1		データ通信端末		1
	災害救援車		5		デジタルカメラ		3
	救護資機材運搬トラック		1(1)		災害用PC・タブレット		3
教材 救護員	AEDトレーナー		26		災害用テレビモニター		1
	蘇生法教育人体モデル(全身)		14(8)		衛星携帯電話		3
	蘇生法教育人体モデル(半身4体入)		7				
	蘇生法教育人体モデル(乳児4体入)		4(4)				

【地区区分(市町村)】※()の数字は令和6年度に整備したもの

品名	数量	品名	数量
災害救援車	56	ワンタッチテント(大)	24
移動炊飯器	52	自動体外式除細動器(AED)	30
発電機:ガソリンタイプ 1600W	22	組立式トイレ(車いす対応)	19
発電機:ガソリンタイプ 900W	3	蓄電池(2kw・太陽光パネル付)	27
発電機:プロパンタイプ 850W	11	防災倉庫:2.26 坪	9(9)
LED 投光機:スタンドタイプ	36	防災倉庫:1.99 坪	1(1)

② 救援物資の備蓄、配付状況

○備蓄状況(支部・地区区分において備蓄)

毛 布	緊急セット	安眠セット	布 団	バスタオル	ブルーシート	タオルケット
3,018 枚	1,327 セット	1,125 セット	373 組	1,131 枚	728 枚	1,876 枚

○救護資機材の貸出

資器材名	釜セット	テ ン ト	A E D
件数	2 件	—	6 件

○火災による救援物資の配付・弔慰金の支給

【救援物資の配布】

世帯数	31 世帯	毛 布	緊急セット	布 団	バスタオル	安眠セット	ブルーシート	タオルケット
人 数	70 人	70 枚	24 セット	45 組	48 枚	2 セット	9 枚	29 枚

【弔慰金の支給】

人数	金 額
4 人	80,000 円



▲毛布



▲安眠セット



▲緊急セット

(7) 災害時物資支援協定の締結

大規模災害が発生した際、支部の備蓄のみでは十分な活動ができないことから、迅速かつ的確な災害救護を実施できる体制を構築するため、企業・団体との災害時物資支援協定に取り組んでいます。



▲(株)八百彦商店との物資支援協定
(H26.2.11 締結)



▲一般社団法人奈良県 LP ガス協会
との物資支援協定(H29.1.23 締結)



▲板倉石油(株)との物資支援協定
(H29.10.25 締結)

(8) 国内義援金の受付

義援金を募集する災害は、原則として災害救助法が適用され、かつ配分対象の都道府県に義援金配分委員会が設置されていることが基本的な条件です。

また、同じ災害によって、居住する都道府県によってばらつきが生じないように、災害毎に一元的に災害程度に応じて按分した上で、各被災地の都道府県義援金配分委員会に送金し、全額が被災された方々に各市町村からお届けされます。

【令和6年度受付実績】

(単位:円)

義援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
令和6年能登半島地震災害義援金	643	38,373,733	令和7年12月26日	138,463,108
令和6年7月25日からの大雨災害義援金	20	1,142,585	令和7年3月31日	
令和6年9月能登半島大雨災害義援金	140	5,651,772	令和7年12月26日	
令和7年大船渡市赤崎町林野火災義援金	8	220,683	令和7年1月31日	
令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金	15	2,043,561	令和7年1月31日	
合計	826	47,432,334		138,463,108



▲放課後等デイサービスあいりす
～令和6年能登半島地震災害義援金～



▲公立大学法人奈良県立大学附属高等学校
～令和6年能登半島地震災害義援金～



▲県立添上高等学校吹奏楽部
～令和6年能登半島地震災害義援金～



▲放課後等デイサービスあいりす
～令和6年能登半島地震災害義援金～

2 赤十字講習の充実 ―いざという時に備えて―

「健康と安全」及び「地域福祉」に役立つ知識と技術を広く県民に普及・指導することを目的として、「救急法」「水上安全法」「健康生活支援講習」「幼児安全法」等の講習を実施しました。令和6年度は、県内各地で 327 回開催し、延べ 9,422 人の方に受講いただきました。

(1) 地区分区と共催による地域での講習会

県内全体での講習普及を目的に、地区分区と共催による地域での講習に取り組みました。

月日		講習内容	実施場所	参加人数
11	29	防災セミナー ・ひなんじょたいけん ・避難生活に役立つ技術・	生駒市北コミュニティーセンター ISTA はばたき	11 人
R7 2	23	防災セミナー ・ひなんじょたいけん ・避難生活に役立つ技術・	御所市防災交流館 Mimoro	9 人



～生駒市地区～



～御所市地区～

▲地区分区と共催による地域での講習

(2) 金色有功章受章企業を対象とした講習会

金色有功章を受章した企業を対象に無料体験講座を実施しました。

月日		講習内容	実施場所	参加人数
8	20	災害時要配慮者生活支援講習 ・身近なものを使った手当 ・三角巾を使った手当 ・毛布担架 ・災害時の社員の行動について	ニッタ株式会社	39 名

(3) 防災・減災のための講習会

- ① 地域防災力の向上を図るため、防災・減災のための講習会を支部及び県内各地域で開催しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
地域で考える災害時の備え ・赤十字防災啓発プログラム ・体験プログラム など	2時間以上	37 回	1,518 人
災害時要配慮者生活支援講習			
避難生活支援講習			
防災セミナー	適宜	42 回	1,109 人
計		79 回	2,627 人



▲災害時要配慮者生活支援講習

～ひなんじょたいけん～



～非常食づくり

- ② 防災教育指導者を育成するため、防災教育事業指導者研修会への参加と、支部主催で養成研修を実施しました。

月日	研修名・内容	実施場所/主催	参加対象及び人数
5 17	防災教育事業主任指導者研修会 ・令和6年度における防災教育事業の概要 ・新カリキュラム導入に伴うセミナー展開のあり方	支部(WEB)/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2 人
9 14・ 15	防災教育事業指導者フォローアップ研修会 ・新カリキュラム「ひなんじょたいけん」理解度促進 ・防災教育事業研修での主任指導者の役割の確認、問題点の洗い出し、解決策の立案	本社/ 本社主催	防災教育事業指導者 支部職員 2 人
11 23・ 24	防災教育事業指導者養成研修会 ・日本赤十字社が実施する防災教育事業について ・防災教育事業指導者について ・災害への備え ・災害エスノグラフィー ・災害図上訓練(DIG)	支部/ 支部主催	ボランティア 支部職員 14 人



▲赤十字防災啓発プログラム



▲防災教育事業指導者養成研修会



(4) 救急法等の講習会

① 救急法

心肺蘇生やAEDの使用法などの救命手当を習得する「基礎講習」や、止血・包帯・搬送の方法などを習得する「救急員養成講習」などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
基礎講習	4時間	20 回	384 人
救急員養成講習	12時間	9 回	156 人
短期講習	2時間以上	107 回	3,060 人
指導員養成講習	30時間	1 回	5 人
計		137 回	3,605 人



▲基礎講習

※基礎講習修了後、救急法救急員及び水上安全法救助員養成講習の受講が可能です。

② 水上安全法

身近なものを使った応急手当や着衣泳(服を着たまま溺れた場合の対処方法)講習などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
救助員養成Ⅰ講習	14時間	3 回	138 人
短期講習	2時間以上	25 回	1,429 人
指導員養成講習(ブロック合同)	30時間	—	—
計		28 回	1,567 人



▲救助員養成Ⅰ講習

③ 健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康増進・介護方法などの講習や、地域福祉の向上のための介護職員研修などを実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	3 回	45 人
短期講習	2時間以上	51 回	1,837 人
指導員養成講習	30時間	—	—
計		54 回	1,882 人



▲支援員養成講習

④ 幼児安全法

乳幼児に対する救命手当や、子どもに起こりやすい事故の予防と手当、家庭内での看病の方法などの講習を実施しました。

講習会の種類	講習時間	回数(回)	受講者数(人)
支援員養成講習	12時間	3 回	27 人
短期講習	2時間以上	63 回	1,232 人
指導員養成講習	30時間	—	—
計		66 回	1,259 人



▲支援員養成講習

3 青少年赤十字の育成－思いやりを育む－

将来をになう児童・生徒が、自ら「気づき・考え・実行する」という生きる力を養うため、先生等の青少年赤十字指導者の協力のもと、学校教育の現場で豊かな人間性や社会性を育む活動に取り組みました。

(1) 加盟校の状況

項目	保育園・幼稚園 認定こども園	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	計
加盟校	30校	77校	22校	1校	10校	1校	141校

(2) 青少年赤十字防災教育の推進

青少年の健康と安全を守り、学校や地域、家庭での防災意識の向上を目的に、青少年赤十字防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」(小・中・高校生向き)や「ぼうさいまちがいさがし きけんはっけん!」(幼稚園・保育所向き)の教材を活用した防災セミナーなどを随時開催しました。

【教職員等を対象とした防災教育の開催状況】

月 日	講習内容	場所	参加対象及び人数
5 21・ 23	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方と実習	奈良市教育センター 他	奈良市小学校初任者 41人
6 4	奈良市教職員研修講座 ・防災教育の基本的な考え方と実習	奈良市教育センター	奈良市中学校初任者 9人
8 20	防災セミナー ・災害への備え ・ひなんじょたいけん	奈良県立教育研究所	県内教職員 12人
R7 1 15	講演 ・「命の大切さ、こどもの命」 ・災害時のこころのケア	宇陀市人権推進委員会 「いのちを考える」部会	宇陀市教職員 34名

(3) 青少年赤十字加盟校の活動支援事業

青少年赤十字加盟校が地域とふれあいながら、特色のある活動に対して、助成金を交付し支援を行いました。

学校名	事業名称	参加人数	活動内容
奈良県立大学 附属高等学校	六条校区地域ボランティア活動	32人	<ul style="list-style-type: none"> ●地域貢献活動を通して出会いや喜び、達成感、成長などを得る機会を持つ。 ●おしゃべりサロン(高齢者対象)、まなびのひろば、餅つき大会(小学生対象)、河川清掃
大和郡山市立 筒井幼稚園	パパっ子クラブで “ならシェークアウト”	34人	<ul style="list-style-type: none"> ●パパっ子クラブの保護者と水遊びをしているときに、地震が起こったという想定で避難行動を実施。 ●能登半島地震の様子を担当から聞き、ライフラインが止まった時の行動を考える。 ●年長児は吹き出し訓練を実施する。
五條市立 五條小学校	防災頭巾を作ろう	190人	<ul style="list-style-type: none"> ●全校で地震から火災を想定した避難訓練を実施。 ●教室の危険な場所について考える。 ●防災頭巾の作成と修繕。
平群町立 平群中学校	花植えボランティア	80人	<ul style="list-style-type: none"> ●学校と地域が協力して、学校内と周辺地域の環境美化を図る。 ●生徒会が中心となり、有志で集まった生徒たちとともに、保護者や地域の方々の力を借りながら、奉仕活動に取り組むことで、生徒たちの自主性と地域の方々への感謝の気持ちを育む。 ●生徒会が中心となり、有志で集まった生徒らと教師、保護者、地域の方々が協力して、学校内と周辺の花壇の整備と清掃を行う。



▲奈良県立大学附属高等学校
六条校区地域ボランティア活動



▲筒井幼稚園
パパっ子クラブでならシェークアウト



▲五條小学校
防災頭巾を作ろう



▲平群中学校
花植えボランティア

(4) 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	参加人数
5	29 教育委員会教育長訪問	下市町	青少年赤十字活動への協力依頼	3 人
	30 奈良県青少年赤十字指導者協議会	支部	リーダーシップ・トレーニング・センター開催内容検討	9 人
5 6	30 1 2 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	本社	赤十字と青少年赤十字、青少年赤十字と学校教育 青少年赤十字とリーダーシップ トレーニングセンターの運営について	1 人
7	12 全国青少年赤十字全国指導者協議会・総会	東京都	役員改選 令和5年度事業報告、令和6年度取り組み 講演「学校教育と青少年赤十字」	1 人
8	8・9 県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	赤十字について、災害時シミュレーション、 キャンプファイヤー フィールドワーク(車椅子体験、アイマスク体験)	87 人
10	16 教育委員会教育長訪問	河合町	青少年赤十字活動への協力依頼	3 人
R7 I	10 青少年赤十字研究会	本社	講演「学校教育と青少年赤十字」 講演「青少年赤十字の実践と効果 グループディスカッション「教育現場の課題と青少年 赤十字の活用」	1 人
	12 親子で学ぶ防災教室	支部	身近なものを使った応急手当 災害時シミュレーション	4 人
3	22 1 26 青少年赤十字スタディ・センター	山梨県	赤十字と青少年赤十字、自分発見・目標発見 国際理解、防災学習、これからの活動を考える	2 人



▲県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター
～災害時シミュレーション～



～車椅子体験～



▲親子で学ぶ防災教室
～身近なものを使った応急手当～

4 国際活動の推進 ―世界とつながる―

世界 191 の国と地域にある赤十字の一員として、本社と連携し、災害や紛争等で苦しむ人々の緊急救援や復興支援などの人道的活動を行いました。

(1) 支部の国際活動への参加

バングラデシュ保健医療支援事業に資金協力をしました。



▲診療所医師によるボランティア向け勉強会
～バングラデシュ保健医療支援事業～

(2) 海外救援金の受付

【令和 6 年度受付実績】

(単位:円)

救援金募集名	件数	金額	募集期限	前年度までの累計
中東人道危機救援金	4	2,221	令和8年3月31日	198,864
バングラデシュ南部避難民救援金	4	2,201	令和8年3月31日	77,132
アフガニスタン人道危機救援金	4	5,437	令和7年3月31日	32,944
ウクライナ人道危機救援金	134	317,810	令和8年3月31日	35,611,566
イスラエル・ガザ人道危機救援金	16	257,868	令和7年3月31日	248,419
レバノン人道危機救援金	3	11,110	令和7年3月31日	0
2024年台湾東部沖地震救援金	34	610,775	令和6年6月28日	0
合計	199	1,207,422		36,168,925

(3) NHK海外たすけあいの受付

【令和 6 年度受付実績】

(単位:円)

受付窓口	件数等	金額	備考
日赤奈良県支部	66	154,097	支部・施設での受付、南都銀行、農協からの振込
NHK奈良放送局	10	328,627	NHK 奈良放送局での受付
街頭募金	19カ所	383,646	地域奉仕団、青年奉仕団が県内各地で実施
ゆうちょ銀行	368	4,588,159	県民から本社への振込
合計		5,454,529	



▲大和高田市赤十字奉仕団
～トナリエ大和高田～



▲王寺町・上牧町赤十字奉仕団
～JR 王寺駅前～

(4) 赤十字思想の普及・啓発

本社、第 4 ブロック(近畿)主催の国際人道法セミナーに参加しました。

月 日	内容	開催場所/主催	参加人数
R7 1 17	国際人道法入門、国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、有事関連法と日本赤十字社	支部(WEB)/第 4 ブロック支部主催	2 人
2 19・ 20	国際人道法の普及と課題、国際人道法を取り巻く世界の動向と日本政府の関わり、赤十字運動における核兵器廃絶の動き	支部(WEB)/本社主催	1 人

5 救護看護師の養成 ―国内外で活躍できる看護師を―

看護に関する幅広い能力と、救護に関する専門知識を兼ね備えた実践者を育成するため、京都第二赤十字看護専門学校へ委託し、看護師養成事業を行いました。

奈良県支部では、これまでに 40 名の看護師を養成しています。

(平成 22 年度まで和歌山、平成 23 年度から令和 2 年度まで大阪、令和 3 年度から京都第二)



▲戴帽式



▲看護体験学習

6 血液事業の推進 ―献血にご協力を!!―

奈良県赤十字血液センターでは、血液製剤を安定的にお届けできるよう、献血者の安定的な確保と安全な輸血用血液の供給に努めました。

(1) 愛の血液助け合い運動(7 月～8 月)、全国学生クリスマス献血キャンペーン(12 月)、はたちの献血キャンペーン(1 月～2 月)、バレンタイン献血(2 月)、近畿統一キャンペーン(3 月)等を実施しました。

(2) 若年層の献血者確保事業や青少年等献血ふれあい事業を実施しました。

- ・献血セミナー
- ・学内献血
- ・献血まるわかりゼミ

(3) 献血推進の広報活動を行いました。(新聞広告掲出:県有功会)

- ・愛の血液助け合い運動
- ・はたちの献血キャンペーン



▲学生献血推進協議会
(近畿統一キャンペーン)



▲全国学生クリスマス献血キャンペーン



▲若年層献血
(天理大学ラグビー部)

7 赤十字ボランティアの育成 ―活動を支える―

赤十字ボランティアは、各分野において、赤十字活動や地域の活動に積極的に貢献いただいております。また災害時等における「共助」の担い手として、大切なリーダー的存在であるため、その活動を積極的に支援しました。

(1) 地域赤十字奉仕団(団数及び団員数:39 団、2,317 名) 昭和 23 年発足

- ・市町村の地域ごとに結成され、地域単位で活動するために組織された奉仕団です。
- ・全体の取組として赤十字事業の普及と推進、ハンセン病療養所の訪問(岡山県)と地区委員会、防災・減災をテーマにした研修会などを開催しました。
- ・地域活動では地域ニーズに応じた独自活動のほか、献血の呼びかけ、クリーンアップキャンペーンへの参加、NHK海外たすけあいの募金活動と受付協力、防災訓練への参加などに取り組みました。

① 「地域赤十字奉仕団支援助成金」事業

地域奉仕団が抱えている高齢化や団員の減少への対策、地域住民の方に奉仕団の存在や活動への理解を深める広報などの活動に対し助成金を交付しました。

対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ・赤十字思想の普及啓発 ・高齢者及び子どもの見守り ・ふれあいサロン等の交流会、 ・地域の健康増進活動 ・地域の防災・減災のための講習開催 ・団の広報活動、 ・新規団員募集のための活動
------	--

奉仕団名	事業名	内容
奈良市地区赤十字奉仕団 大宮分団	いきいき歌声サロン大宮	高齢者がひきこもることなく仲間・居場所づくりができる場の提供と歌うこと音楽に合わせて体を動かすことにより介護予防と健康増進を図ることを目的に開催した。
	ポッチャをやって楽しもう!大宮	障害の有無、年齢に関係なく、レクリエーションとして気軽に楽しめるスポーツ「ポッチャ」を通じて、幅広い世代に赤十字活動の普及啓発を行った。
奈良市地区赤十字奉仕団 平城分団	さくら食堂	地域の親子が食を通して、安心して過ごせる居場所の提供と、地域と触れあい、つながりを感じていただく場として開催した。
奈良市地区赤十字奉仕団 左京分団	おきがる食事会	地域の子供たちの「ふれあいの場」「居場所づくり」を目的に小さな子供から高齢者の方まで幅広く交流し、食事を通して絆を深めることを目的に開催した。
大和高田市赤十字奉仕団	県外研修及び赤十字 学習会	東大阪防災センターでの講話や体験を通じて、防災・減災の研修を実施し、奉仕団員の知識を深めた。また、研修で得た学びを市民に周知防災・減災の意識を高め合うため、赤十字学習会の開催した。
御所市赤十字奉仕団	防災訓練	御所市に新設された防災交流館において、非常時の設備使用及び避難所の運営者、利用者のサポートを迅速かつ的確に行うことを目的に設備に慣れるための訓練を実施した。
下市町赤十字奉仕団	お出かけ健康法	日頃から身近に取り組める運動や、日頃取り組んでいるウォーキングについて効果的な正しい取り組み方法を学び、健康づくりに一層役立てるとともに、活動を通じて奉仕団の普及啓発を図った。



▲奈良市地区赤十字奉仕団大宮分団
～いきいき歌声サロン大宮～



▲奈良市地区赤十字奉仕団平城分団
～ざくら食堂～



▲奈良市地区赤十字奉仕団左京分団
～おきがる食事会～



▲大和高田市赤十字奉仕団
～県外研修及び赤十字学習会～



▲御所市赤十字奉仕団
～防災訓練～



▲下市町赤十字奉仕団
～お出かけ健康法～

② 地域奉仕団のリーダーを育成するための研修会を開催しました。
(地域奉仕団研修会 9月10日:橿原市)



～開会式～



～新聞紙タワー作成～



～グループワーク～

③ ハンセン病療養所を訪問し、入所されている奈良県出身者の方との交流を行いました。
(10月9日:岡山県瀬戸内市)



▲ふれあい交流会



▲納骨堂参拝



▲歴史資料館見学

- ④ 講習普及活動、献血協力の呼びかけや、クリーンアップキャンペーンに参加しました。
 (クリーンアップならキャンペーン 11月23日:県内7市町村 延べ33人参加)
 また、独自活動(一日赤十字開催や地域イベントとのコラボなど)に参加し、奉仕団活動の普及に努めました。



▲ひなんじょたいけん
 ~香芝市赤十字奉仕団~



▲献血協力の呼びかけ
 ~大和郡山市赤十字奉仕団



▲クリーンアップキャンペーン
 ~大和高田市赤十字奉仕団



▲防災イベント
 ~橿原市赤十字奉仕団~



▲おにぎりパーティ
 ~田原本町赤十字奉仕団

- ⑤ 地域内での「法人会費」や「災害義援金」や「海外救援金」、「NHK海外たすけあい」の募集活動に協力しました。



▲ウクライナ人道危機救援金受取:香芝中学校
 ~香芝市赤十字奉仕団~



▲能登半島地震義援金(街頭募金)
 ~御所市赤十字奉仕団~

- ⑥ モデル奉仕団の指定

令和6年度から令和8年度の3年間、モデル奉仕団として活動しました。

奉仕団名	活動内容
安堵町赤十字奉仕団 (団員:45人)	モデル活動名:災害救護に関する活動
	各自治会を対象とした出前防災講習会の開催、サロンでの防災講習会の開催 非常食の炊き出し、防災紙芝居の作成



▲町内での防災講習



▲非常食の炊き出し

⑦ 研修会・講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加 人数
4	8～ 10/2	地区委員会	県内 地区	令和 6 年度支部・血液センター事業計画報告	-
5	30・31	奉仕団中央委員会	本社	各ブロックの活動状況報告 赤十字の防災教材について 大阪・関西万博について	1 人
6	21	奉仕団支部委員会	支部	令和 6 年度地域奉仕団研修会について	18 人
8	8・9	県青少年赤十字リーダーシップ・トレーニングセンター(奈良市地区赤十字奉仕団)	奈良市	トレセン炊き出し	11 人
10	26	赤十字フェスタ (大和郡山市・天理市赤十字奉仕団)	大和郡山市	記念品引き換え、アンケート受付、救護服試着 コーナースタッフ	8 人
	13	親子でアウトドア (奈良市地区赤十字奉仕団)	奈良市	アイラップに炊き込み具材を入れた料理体験	12 人
12	6	奉仕団中央委員会常任委員会	本社	令和 7 年度奉仕団中央委員会日程案 奉仕団中央委員会テーマについて	1 人
2	19	奉仕団支部委員会	支部	令和 6 年度事業中間報告 令和 7 年度事業計画	15 人
		奉仕団交流会	支部	「From me」研修会～寄付体験カードゲーム～	12 人
	26.27. 28	赤十字募金発送作業 (奈良市地区赤十字奉仕団)	支部	県内学校へ依頼する赤十字募金資材の分類、 梱包作業	延べ 13 人



▲奉仕団支部委員会



▲親子でアウトドア
～奈良市地区赤十字奉仕団～



▲奉仕団交流会「From me」研修会

(2) 安全法指導赤十字奉仕団(団員:88名)昭和52年発足

(救急法指導員 72 名、水上安全法指導員 20 名、幼児安全法指導員 25 名、健康生活支援講習指導員 10 名)

- ・赤十字救急法、健康生活支援講習、幼児安全法、水上安全法の指導員で組織された奉仕団です。
- ・健康で安全に暮らすための知識と技術を伝える講習の普及に取り組みました。

① 講習会指導状況

区分		回数(回)	受講者数(人)	指導者数(人)
基礎講習		20 回	384 人	71 人
養成講習	救急法	9 回	156 人	38 人
	水上安全法	3 回	138 人	20 人
	幼児安全法	3 回	27 人	8 人
	健康生活支援講習	2 回	11 人	4 人
短期講習	救急法	102 回	2,911 人	134 人
	水上安全法	25 回	1,429 人	33 人
	幼児安全法	60 回	1,126 人	65 人
	健康生活支援講習	4 回	131 人	4 人
災害時要配慮者生活支援講習		21 回	1,124 人	23 人
計		249 回	7,437 人	400 人

② 研修会、講習会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加人数
4	21	総会	支部	令和５年度事業報告、会計報告 令和６年度事業計画(案)、予算(案)等審議	33 人
		研修会	支部	幼児の心肺蘇生及び AED の実技確認	34 人
5	25・26	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 7 人)	3 人
6	2・8・9・13	水上安全法救助員Ⅰ養成講習	大和郡山市	水の事故防止、救助、応急手当など(受講者 11 人)	17 人
	16	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 20 人)	6 人
	22・23	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 24 人)	10 人
7	2・3	健康生活支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における支援活動、日常生活における介護など(受講者 3 人)	1 人
	6	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当(受講者 6 人)	1 人
	13	役員会	支部	研修会、8 月講習会について	12 人
	20	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6 人)	2 人
8	16	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 9 人)	2 人
	24	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 8 人)	8 人

月 日		名 称	場 所	内 容	参加 人数
9	7	役員会	支部	研修会、9月講習会について	10人
	16	災害時要配慮者生活支援講習	支部	知って役立つ知識、非常食作り、応急手当 (受講者 3人)	1人
	28・29	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 20人)	16人
10	5	役員会	支部	研修会、規約の改定について	10人
	6	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 10人)	2人
	20	奈良県防災総合訓練	奈良市	救護所設営、担架搬送	3人
	26	赤十字フェスタ	大和郡山市	心肺蘇生及び AED、応急手当の体験を指導	3人
11	10	臨時総会	支部	規約の改定について	17人
		研修会		プール管理・監視について	
	12	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 10人)	1人
	16.17	幼児安全法支援員養成講習	支部	子供に起こりやすい事故の防止など(受講者 6人)	5人
12	1	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 6人)	7人
	21・22	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 14人)	11人
R7 1	24～ 26	能登半島地震における被災者支援活動	石川県 能登町	レクリエーション、らくらく体操、リラクゼーション	5人
	18	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 10人)	3人
	19	役員会	支部	令和 7 年度総会、2 月講習会について	10人
2	1	救急法基礎講習	支部	心肺蘇生、AEDの使用方法など(受講者 11人)	10人
	8・9	救急法救急員養成講習	支部	急病・けがの手当、搬送など(受講者 19人)	10人
	15・16	健康生活支援員養成講習	支部	高齢者の健康と安全、地域における支援活動、日常生活における介護など(受講者 8人)	3人
	19	奉仕団支部委員会	支部	令和 6 年度事業中間報告 令和 7 年度事業計画	1人
		奉仕団交流会	支部	「From me」研修会～寄付体験カードゲーム～	
3	16	役員会	支部	令和 7 年度総会・研修会について	10人



▲総会



▲研修会



▲能登半島被災者支援

(3) 無線・救護赤十字奉仕団(団員:11名)昭和47年発足

平成25年度に無線赤十字奉仕団から名称変更

- ・無線の資格を生かし、災害時の情報収集や伝達活動をするために組織された奉仕団です。
- ・災害時の活動に備え、通信訓練や救護訓練に取り組みました。

① 活動・研修会等

月 日		名 称	場 所	内 容	参加人数
4	13	第4ブロック連絡協議会	大阪市	令和5年度活動報告、令和6年度活動予定 役員改選、令和6年度第4ブロック訓練概要	1人
	20	総会	支部	令和5年度活動報告、会計報告 令和6年度活動計画(案)、予算(案) 役員改選	4人
6	15	第4ブロック合同災害救護訓練(本番)	和歌山県	物資搬送、通信訓練	2人
10	26	赤十字フェスタ	大和郡山市	救急車・災害救援車展示コーナースタッフ	2人
12	8	奈良マラソン救護支援	奈良市	救護支援	4人
R7 2	19	奉仕団支部委員会	支部	令和6年度事業中間報告 令和7年度事業計画	1人
		奉仕団交流会	支部	「From me」研修会～寄付体験カードゲーム～	
無線通信訓練		熊本県(4/13)、山口県(4/14、5/26)、鹿児島県(5/26、1/11)、和歌山県(6/15)、宮城県(6/16、11/2)、北海道(7/20)、栃木県(7/21、9/1)、鳥取県(8/25)、群馬県(10/6)、山梨県(10/9)、静岡県(11/17)、宮崎県(11/4)、東京都(11/10)、愛知県(12/22)、茨城県(12/22)、鹿児島県(1/11)、兵庫県(1/17)、大阪府(1/26)、福島県(3/23)、島根県(3/22、23)、神奈川県(3/22)			



▲総会



▲救護訓練での無線通信



▲赤十字フェスタでの無線通信

(4) 看護赤十字奉仕団(団員:44名)昭和48年発足

- ・看護師資格を持つメンバーで組織された奉仕団です。
- ・地域社会に貢献しようと奈良マラソン等、公共性の高い行事等で救護活動を行いました。

① 救護活動回数

区分	回数	派遣人数
臨時救護	43回	75人
団体付添救護	2回	2人
計	45回	77人



▲奈良マラソンでの臨時救護



▲付添救護

(5) 青年赤十字奉仕団(団員:106名)

奈良県青年赤十字奉仕団:4名 昭和60年発足
近畿大学農学部赤十字奉仕団:99名 平成4年発足
奈良大学学生赤十字奉仕団:3名 平成24年度発足

- ・勤労青年や大学生で組織された奉仕団です。
- ・赤十字思想の普及、他府県との交流や献血事業の推進に努め、青少年赤十字活動のサポート、救急法の習得を行いました。

① 研修会・講習会等

月 日	名 称	場 所	内 容	参加人数
5	11	青年奉仕団全国協議会(第1回)	(WEB) 令和5年度活動事例の共有、各支部からの協議事項、令和5年度活動スローガンの検討	1人
	31	清掃活動	生駒市 商店街での清掃活動	17人
6	2	第4ブロック協議会役員会	兵庫県 令和5年度ブロック事業・決算報告、役員改選 令和6年度第4ブロック事業計画(案)・予算(案)	2人
	15	献血啓発活動	橿原市 献血の呼びかけ	11人
8	8・9	県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市 トレセン運営スタッフ	2人
	13	燈花会サポート活動	奈良市 なら燈花会の点灯準備など	36人
	14	清掃活動	奈良市 奈良公園、春日大社での清掃活動	7人
	18	安堵町ふれあい盆踊り大会	安堵町 安堵町赤十字奉仕団の調理補助	4人
9	11	救急法短期講習	奈良市 心肺蘇生、AED	21人
10	13	親子でアウトドア	奈良市 工作体験のサポート	5人
	26	赤十字フェスタ	大和郡山市 ハートラちゃん、けんけつちゃんとの記念撮影 スタッフ	6人
11	16・17	第4ブロックリーダー養成研修会	兵庫県 YABC セミナー、リーダーについて、 大阪・関西万博を盛り上げるためには	1人
12	23	NHK 海外たすけあい街頭募金	生駒市 募金活動	3人
R7 1	18	青年奉仕団全国協議会(第2回)	(WEB) 今年度の振り返り、これから取り組みたい活動	1人
2	8・14	なら瑠璃絵	奈良市 受付・誘導補助、説明・撤去、来場者アンケート依頼	21人
	27	救急法短期講習	奈良市 心肺蘇生、AED	17人
3	8・9	全国車いす駅伝競走大会	京都市 移動サポート等	1人
	9	第4ブロック協議会役員会	兵庫県 令和6年度事業報告、決算見込み 令和7年度事業計画(案)、予算(案)	1人



▲救急法講習



▲親子でアウトドア



▲海外たすけあい街頭募金

(6) 青少年赤十字賛助奉仕団(団員:16名)昭和39年賛助会として発足、平成14年に名称変更

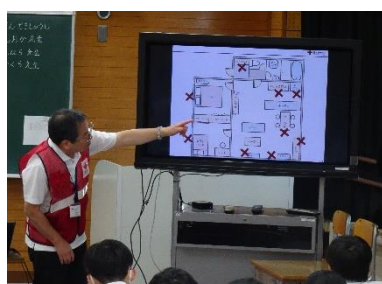
- ・青少年赤十字の指導に当たっていた先生で組織された奉仕団です。
- ・青少年赤十字指導者やメンバーの活動を側面から支えています。

① 「防災セミナー」や「防災教室」への協力を行いました。

月 日	名 称	場 所	内 容	参加人数
5	21・23 防災セミナー	奈良市	防災教育の基本的な考え方と実習	1人
	28 防災教室	上牧町	ひなんじょたいけん	2人
6	4 防災セミナー	奈良市	防災教育の基本的な考え方と実習	1人
8	30 防災教室	葛城市	地震災害、おうちのきけん、災害シミュレーション	2人
12	2 防災教室	御所市	災害シミュレーション、新聞タワー	2人
R7 2	8 防災教室	奈良市	災害図上訓練(DIG)	1人
	16 防災教室	桜井市	おうちのきけん、災害シミュレーション	4人

② 研修会等

月 日	名 称	場 所	内 容	参加人数
5	31 県賛助奉仕団総会	支部	令和5年度事業報告、役員改選 令和6年度事業計画(案)	7人
7	11・12 全国賛助奉仕団総会	本社	令和5年度事業報告、会計報告 役員選任 令和6年度事業計画(案)、予算(案)	1人
8	8・9 県青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニングセンター	奈良市	トレセン運営スタッフ	7人
10	17・18 第4ブロック交流研修会	神戸市	情報交換、交流会、視察	1人
	26 赤十字フェスタ	大和郡山市	クラフトペーパー作り	2人
R7 2	15 交流研修会	奈良市	青少年赤十字の現状について、 まもるいのちひろめるぼうさい使用方法確認、 きけんはっけん「地震編」、指導計画案作成	6人
	19 奉仕団支部委員会	支部	令和6年度事業中間報告 令和7年度事業計画	1人
	奉仕団交流会	支部	「From me」研修会～寄付体験カードゲーム～	



▲防災セミナー～當麻小学校～



▲トレセン運営スタッフ



▲赤十字フェスタ

(7) 防災ボランティア(個人)(登録人数:22名)平成9年発足

- ・支部に個人で登録し、災害発生時における支部の救護活動を支えています。
- ・救護訓練などに参加しました。
- ・「赤十字 NEWS」発送業務に協力しました。(5月・8・11・2月:延べ20名)

8 効果的な広報活動の展開 ―活動へのご理解とご参加を―

赤十字の事業活動を、幅広く県民に知っていただき、赤十字ボランティアへの参加、会費募集への理解を深めるため、赤十字運動月間を中心に広報活動に努めました。

また、大型商業施設(イオンモール大和郡山)において「赤十字フェスタ 2024 in なら」を開催し、赤十字のPR活動を行いました。

(1) 支部の広報活動

- ① テレビ放送(運動月間:5月及び随時放送)での広報活動を行いました。(奈良テレビ、吉野テレビ、下市テレビに継続して放送依頼)

【令和6年度テレビ放送回数(無償):令和6年5月1日～令和7年3月31日】

奈良テレビ	下市テレビ
374回	60回

※ご協力ありがとうございました。

- ② 広報誌「日赤なら」(5月:20万部)を配布しました。また、新聞折り込み(ウーマンライフ新聞社:4月・6月・10月)による広告掲載を行いました。
- ③ 会員等関係者へ赤十字NEWSや会員誌「クロスコムブック」を送付しました。
- ④ 講習受講者に、赤十字活動をPRし活動資金への協力を依頼しました。
- ⑤ SNS(Instagram等)やWEB広告バナーを活用して赤十字活動やイベントの広報活動を行いました。
- ⑥ 「赤十字を知ってもらう」をコンセプトに、県内で最も乗降客及び乗換利用客が多い近鉄大和西大寺駅でデジタルサイネージ広告を実施し、目に留まる広報活動を行いました。
- ⑦ ホームページによる各種情報等を発信しました。
- ⑧ 報道機関へ、広報資材をもって広報の協力依頼を実施しました。(随時)

(2) 地区区分への広報活動

- ① 広報誌「日赤なら」20万部作成し、各自治会等を通じて、県民に配布しました。
- ② 各地区区分広報誌への会費募集広報の依頼及び救急法等講習会の広報を実施しました。
- ③ 地区区分主催の1日赤十字などのイベントや、自治会主催の防災訓練などのイベントで「赤十字パネル展」やのぼりなどの広報資材を通じて広報PRを行いました。

(3) 第4ブロック(近畿)合同広報活動

- ① 啓発資材(ポケットティッシュ)2万個を作成し、イベント等で配布しました。



▲赤十字フェスタ 2024in なら



▲近鉄大和西大寺デジタルサイネージ



▲WEB バナー広告

9 活動資金の募集及び表彰制度 –活動資金にご協力を!!–

日本赤十字社は、会員の皆さまから納めていただく会費と、広く皆さまからお寄せいただく寄付金を財源として、災害救護活動や国際活動などの人道的活動を展開しています。

今年度も、地区分区、赤十字奉仕団、自治会、日赤有功会をはじめ県民の皆さまのご理解を得るように努め、会費増強に取り組みました。

また、県内の幼・小・中・高等学校への赤十字募金のお願い、個人・法人などへのダイレクトメール(28,000 通)での協力依頼、経済団体の協力を得て法人会費への依頼、遺贈による寄付の周知など、活動資金の確保に努めました。

(1) CSR(社会貢献)実績

① 寄付金付自販機設置実績

寄付金付自販機設置先	住 所
(株)RISING SUN	橿原市
(有)三輪そうめん天寿堂	桜井市
中造園	葛城市
シンシアペットクリニック	三郷町



▲寄付金付自動販売機

② 活動資金募金箱設置

活動資金募金箱設置先	設置場所	活動資金募金箱設置先	設置場所
インプレス	奈良市	奈良カントリークラブ	五條市
東大寺	奈良市	シプレカントリークラブ	五條市
奈良中央信用金庫南奈良支店	奈良市	秋津原ゴルフクラブ	御所市
奈良柳生カントリークラブ	奈良市	奈良中央信用金庫二上支店	香芝市
moothi	奈良市	宇陀カントリークラブ	宇陀市
医療法人厚生会奈良厚生会病院	大和郡山市	オークモントゴルフクラブ	山添村
中華料理 橘	大和郡山市	県立万葉文化館	明日香村
奈良県立医科大学(財)弘済会	橿原市	大和信用金庫	県内各支店
大和興産(株)	県内 4 店舗		

③ 災害時物資支援協定の締結

締結先	設置場所
板倉石油(株)	奈良市
一般社団法人奈良県LPガス協会	奈良市
(株)八尾彦商店	王寺町

④ 支援マークの締結

締結先	設置場所
山本松産業(株)	天理市
(株)サンシーワールド	御所市

(2) 遺贈・相続財産による寄付の取り組み

金融機関などと連携し遺贈、相続財産に関する協定を締結しました。

締結先	締結場所	締結日
(株)南都銀行	奈良市	R6 年 11 月 18 日
奈良県司法書士会	奈良市	R7 年 1 月 28 日



▲奈良県司法書士会との遺贈寄付に関する協定締結式

(3) 表彰制度

多額の活動資金を納入された個人や法人等については、国や日本赤十字社の表彰制度が適用されます。

① 日本赤十字社の有功章贈与・表彰実績

項 目	人 数	贈与対象内容
支部長表彰状・感謝状	24人	活動資金として一時または累計で10万円以上を納められた個人・法人等
銀色有功章	18人	活動資金として一時または累計で20万円以上を納められた個人・法人等
金色有功章	12人	活動資金として一時または累計で50万円以上を納められた個人・法人等
本社感謝状	13人	金色有功章受章後、更に活動資金として50万円を納められた個人・法人等



(金色有功章:個人 左:男性 右:女性)



(金色有功章略章)



(金色有功章(法人)
銀色有功章(個人・法人))

② 国の表彰制度贈与・表彰実績

項 目	人 数	贈与対象内容
厚生労働大臣感謝状	3人	活動資金として100万円以上を納められた個人 活動資金として300万円以上を納められた法人等
紺綬褒章	2人	活動資金として500万円以上を納められた個人 活動資金として1,000万円以上を納められた法人等



▲紺綬褒章



10 奈良県支部有功会(会員数:382 人)昭和41年11月結成

日本赤十字社から金色有功章を受章された赤十字会員が、赤十字の人道精神に共鳴いただき、支部事業への積極的なご協力と、赤十字会員の増強等に取り組んでいただきました。

また、6 地域の有功会(奈良市都祁、奈良市月ヶ瀬地区、大和郡山市、宇陀地区、橿原市、生駒市)においては、それぞれの地域において会員の増強と赤十字運動に貢献していただきました。

- (1) 全国赤十字大会に参会しました。(5 月 14・15 日:東京都明治神宮会館)
- (2) 国内義援金及び海外救援金として 50,000 円(各 10,000 円)を送金しました。

令和6年7月 25 日からの大雨災害義援金、令和6年9月能登半島大雨災害義援金、 令和6年沖縄県北部豪雨災害義援金 2024 年台湾東部沖地震救援金、レバノン人道危機救援金
--
- (3) 本社の国際活動資金に協力しました。(バングラデシュ保健医療支援事業)
- (4) 新聞広告による支援として、赤十字運動月間、愛の血液たすけあい運動月間、年賀、はたちの献血キャンペーンに、新聞広告を掲載しました。

(5) 総会、会議等

月 日	名 称	場 所	内 容
4 12	活動資金依頼の DM 送付	-	有功会会員へ赤十字活動資金依頼の DM 送付(366 件)
5	10 橿原市総会	橿原市	令和 5 年度事業報告、収支決算 令和 6 年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
	16 生駒市総会	生駒市	令和4年度事業報告、収支決算 令和5年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
6 27	奈良市都祁総会	奈良市都祁	令和 5 年度事業報告、収支決算 令和 6 年度事業計画(案)、予算(案)、ビデオ視聴
7 29	第 59 回総会	奈良市	令和 5 年度事業報告、決算報告 令和 6 年度事業計画(案)、予算(案)、 能登半島地震に対する奈良県支部の対応
10 31	大和郡山市総会	大和郡山市	令和 5 年度事業報告、決算報告 令和 6 年度事業計画(案)、予算(案)、役員改選、ビデオ視聴
11 6	日赤紺綬・有功会会長協議会総会	岩手県盛岡市	役員改選、令和 5 年度決算報告、令和 6 年度収支中間報告 各支部紺綬・有功会活動状況報告
12 16	連絡協議会	奈良市	役員改選 令和 5 年度決算報告 令和 6 年度地区有功会活動状況、会計収支状況
R7 3 21	有功会理事会	奈良市	役員の任期途中の辞任に伴う改選(案)、 令和6年度事業計画(案)、予算(案)、総会開催(案) 令和5年度事業報告、収支状況 令和6年度有功章会員等の増強について



▲全国赤十字大会参会



▲総会



▲理事会

令和 6 年度 一般会計決算報告

1 令和 6 年度 一般会計決算

(収 入)					(単位：円)
区 分	令和6年度 予算現額	令和6年度 決算額	令和5年度 決算額	前年度増減	付 記
1 会費収入	167,000,000	132,710,331	149,695,022	△ 16,984,691	地区分区(市町村)及び支部を通じた個人、法人からの会費、寄付金
2 委託金等収入	0	6,480,420	0	6,480,420	能登半島地震災害救助費費用弁償
3 補助金及び 交付金収入	6,979,000	6,665,733	3,269,250	3,396,483	本社からの交付金
4 繰入金収入	20,000,000	19,000,000	18,825,000	175,000	災害等資金繰入 国際救護活動資金繰入
5 資産収入	100,000	1,841,170	1,714,070	127,100	支部災害救援車売却
6 雑収入	4,921,000	3,847,647	3,900,254	△ 52,607	講師派遣収入、講習用教材費収入等
7 前年度繰越金	25,000,000	41,806,072	32,607,647	9,198,425	前年度繰越金
収 入 合 計	224,000,000	212,351,373	210,011,243	2,340,130	
(支 出)					(単位：円)
区 分	令和6年度 予算現額	令和6年度 決算額	令和5年度 決算額	前年度増減	付 記
1 災害救護 事業費	55,200,000	36,453,918	41,360,285	△ 4,906,367	災害に備えた救護装備費、救援物資整備費、医療救護訓練費、救護看護師養成費等
2 社会活動費	39,500,000	25,713,042	23,920,209	1,792,833	救急法等講習普及費、奉仕団及び青少年赤十字育成費、血液事業普及費
3 国際活動費	1,100,000	1,030,943	1,889,509	△ 858,566	バングラデシュ保健医療支援事業
4 指定事業 地方振興費	3,000,000	3,000,000	3,825,000	△ 825,000	災害救護資機材整備費
5 地区分区 交付金支出	16,800,000	9,250,207	9,520,154	△ 269,947	地区分区(市町村)における赤十字活動費
6 社業振興費	38,000,000	35,268,015	33,542,484	1,725,531	赤十字思想の普及啓発費、会費・義援金等募集費、社員管理費
7 積立金支出	15,000,000	14,771,206	5,073,408	9,697,798	災害等資金積立金 退職給与資金特別会計積立金
8 総務管理費	27,000,000	24,294,141	26,379,031	△ 2,084,890	支部の事業管理運営費
9 資産取得及び 資産管理費	1,550,000	1,090,435	1,114,588	△ 24,153	施設管理費
10 本社送納金支出	23,850,000	18,706,549	21,130,503	△ 2,423,954	本社への送納金
11 予備費	3,000,000	0	0	0	その他
支 出 合 計	224,000,000	169,578,456	167,755,171	1,823,285	
次年度繰越金		42,772,917円			

2 令和6年度 会費収入

(単位:千円)

区分	R2	R3	R4	R5	R6
一般会費	139,707	143,606	135,653	129,608	111,169
うち地区・分区	75,549	75,439	73,711	70,786	68,855
うち有功会勸奨等	64,158	67,852	55,004	57,997	42,314
うち住民税控除対象の海外救援金※	0	315	6,938	825	0
法人会費	19,841	19,178	16,037	20,087	21,541
計	159,548	162,784	151,690	149,695	132,710

※個人住民税控除対象の海外救援金

R3 年度:ハイチ地震救援金

R4 年度:アフガニスタン地震救援金、パキスタン洪水救援金、トルコ・シリア地震救援金

R5 年度:アフガニスタン地震救援金、トルコ・シリア地震救援金、リビア洪水救援金

(1)日赤奈良県支部評議員会の開催

開催日時	場所	議 案
令和6年6月10日	支部	(1)支部監査委員の選出 (2)令和5年度支部事業報告及び収支決算報告 (2)令和5年度血液事業報告
令和7年2月6日	支部	(1)代議員の任期満了に伴う選出 (2)令和7年度支部事業計画及び収支予算 (3)令和7年度血液事業計画

(2)監査報告

令和5年度事業・決算について、監査法人による外部監査を受けました。また、監査委員監査にて、支部監査委員の監査を受けました。



▲支部評議員会(6月)



▲支部評議員会(2月)

参 考 資 料

Ⅰ 令和６年度 一般会費及び法人会費収納実績表

区分		令和6年度		令和5年度		前年度対比
		実績額(円)	前年比	実績額(円)	前年比	
一 般 社 資	奈良市	10,389,444	95.9%	10,833,677	89.2%	△ 444,233
	大和高田市	3,254,569	94.9%	3,429,118	99.1%	△ 174,549
	大和郡山市	5,537,309	97.9%	5,658,326	98.5%	△ 121,017
	天理市	2,545,175	94.8%	2,685,400	97.4%	△ 140,225
	橿原市	5,565,466	94.4%	5,894,657	96.5%	△ 329,191
	桜井市	1,854,470	98.9%	1,875,911	95.0%	△ 21,441
	五條市	2,111,300	107.2%	1,969,600	87.4%	141,700
	御所市	1,694,350	89.8%	1,887,400	100.9%	△ 193,050
	生駒市	6,471,312	96.8%	6,687,035	103.3%	△ 215,723
	香芝市	2,845,000	100.0%	2,845,000	100.0%	0
	葛城市	2,702,740	102.3%	2,640,800	96.3%	61,940
	宇陀市	2,223,600	99.1%	2,242,900	92.9%	△ 19,300
	市地区計	47,194,735	97.0%	48,649,824	95.8%	△ 1,455,089
	山辺郡	477,000	99.5%	479,400	99.0%	△ 2,400
	生駒郡	4,193,646	105.2%	3,988,122	91.3%	205,524
	磯城郡	3,735,710	93.6%	3,990,652	99.1%	△ 254,942
	宇陀郡	494,600	101.1%	489,100	91.9%	5,500
	高市郡	1,752,072	100.1%	1,751,195	99.7%	877
	北葛城郡	6,286,430	95.8%	6,559,552	96.6%	△ 273,122
	吉野郡	4,250,181	96.6%	4,401,393	98.7%	△ 151,212
	吉野西	471,083	98.8%	476,570	94.7%	△ 5,487
	郡地区計	21,660,722	97.9%	22,135,984	96.6%	△ 475,262
	地区分区扱計	68,855,457	97.3%	70,785,808	96.0%	△ 1,930,351
	支部扱計	42,313,848	73.0%	57,997,610	105.4%	△ 15,683,762
	※海外救援金計	0		825,000		△ 825,000
	一般社資合計	111,169,305	85.8%	129,608,418	95.5%	△ 18,439,113
法人社資合計		21,541,026	107.2%	20,086,604	125.2%	1,454,422
社資合計		132,710,331	88.7%	149,695,022	98.7%	△ 16,984,691

※「海外救援金」は、住民税控除対象の海外救援金を掲載しています。

令和6年度 火災・水害等による救援物資配付・弔慰金支給及び付添臨時救護派遣状況

地区・分区名		救援物資									弔慰金 (件数)	付添・臨時救護 (看護師)	
		世帯	人数	毛布	布団	ﾊﾞｽﾀｵﾙ	緊急セット	安眠セット	ﾌﾞﾙｰｼｰﾄ	ﾀｵﾙｹｯﾄ		回数	人数
奈良市		7	14	17	9	14	7	-	1	5	2	7	8
大和高田市		1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
大和郡山市		3	7	14	7	7	3	-	3	-	-	-	-
天理市		1	7	14	7	3	2	-	-	7	-	9	9
橿原市		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
桜井市		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
五條市		3	3	-	3	-	-	2	-	-	-	1	1
御所市		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
生駒市		3	10	-	1	-	-	-	-	8	-	-	-
香芝市		3	4	3	3	5	2	-	2	-	1	-	-
葛城市		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇陀市		2	6	2	2	6	2	-	2	4	-	-	-
市地区計		23	52	51	33	36	17	2	8	24	3	18	23
山辺郡山添村		2	5	10	5	-	1	-	-	-	-	-	-
生駒郡	平群町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三郷町	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	斑鳩町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	安堵町	2	6	-	1	7	3	-	-	5	-	-	-
	計	3	7	-	2	7	3	-	-	5	-	-	-
磯城郡	川西町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	三宅町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	田原本町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宇陀郡	曾爾村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	御杖村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高市郡	高取町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	明日香村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北葛城郡	上牧町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
	王寺町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広陵町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	3
	河合町	2	5	8	5	5	2	-	1	-	-	1	1
	計	2	5	8	5	5	2	-	1	-	1	6	6
吉野郡	吉野町	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	大淀町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下市町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	黒滝村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	天川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	下北山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	上北山村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	川上村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東吉野村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	計	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	1	1
吉野西	野迫川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	十津川村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	5
県		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	42
合計		31	70	70	45	48	24	2	9	29	4	45	77

令和6年度 市町村別講習一覧

		救急法						水上安全法						健康生活支援講習						幼児安全法			
		基礎		養成		短期		養成		短期		養成		短期		災害時高齢者支援		養成		短期			
		回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生	回数	受講生
奈 良 市		4	45	3	18	45	1,268			6	328	1	34	4	85	8	407	1	14	20	274		
大 和 高 田 市						2	38									1	50						
大 和 郡 山 市						7	217			2	72					4	116			8	260		
天 理 市						8	162			1	29			1	16					4	60		
橿 原 市						9	222			3	66			2	41	2	368			3	27		
桜 井 市						1	20									3	101						
五 條 市						1	25			1	15					1	46			1	28		
御 所 市																1	26						
生 駒 市						8	314			5	515			1	10					6	131		
香 芝 市																1	8			4	100		
葛 城 市														1	8					1	36		
宇 陀 市						2	32			1	7					1	90			2	36		
市 地 区 計		4	45	3	18	83	2,298	0	0	19	1,032	1	34	9	160	22	1,212	1	14	49	952		
山 辺 郡 山 添 村																2	29						
生 駒 郡	平 群 町					4	185			1	26			1	25	1	38						
	三 郷 町	1	8			3	104			1	136									5	44		
	斑 鳩 町															1	38			2	23		
	安 堵 町					1	18																
	計	1	8	0	0	8	307	0	0	2	162	0	0	1	25	2	76	0	0	7	67		
磯 城 郡	川 西 町																						
	三 宅 町					1	19			1	60					1	25						
	田 原 本 町					2	66			1	96			1	36	2	65			2	21		
	計	0	0	0	0	3	85	0	0	2	156	0	0	1	36	3	90	0	0	2	21		
宇 陀 郡	曾 爾 村																						
	御 杖 村																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
高 市 郡	高 取 町																						
	明日香村													2	79					2	18		
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	79	0	0	0	0	2	18		
北 葛 城 郡	上 牧 町					1	39									2	55						
	王 寺 町																						
	広 陵 町					2	20									1	17						
	河 合 町					1	23									1	16						
	計	0	0	0	0	4	82	0	0	0	0	0	0	0	0	4	88	0	0	0	0		
吉 野 郡	吉 野 町																						
	大 淀 町									1	58												
	下 市 町					2	66			1	21												
	黒 滝 村																						
	天 川 村																						
	下 北 山 村																						
	上 北 山 村																						
	川 上 村																						
	東 吉 野 村																						
	計	0	0	0	0	2	66	0	0	2	79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
吉 野 西	野 迫 川 村															1	19						
	十 津 川 村																						
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	19	0	0	0	0		
郡 地 区 計		1	8	0	0	17	540	0	0	6	397	0	0	4	140	12	302	0	0	11	106		
県 主 催		3	111	2	74	6	195													2	114		
そ の 他		2	127					2	127														
支 部		10	93	4	64	1	27	1	11			2	11			4	23	2	13	1	60		
合 計		20	384	9	156	107	3,060	3	138	25	1,429	3	45	13	300	38	1,537	3	27	63	1,232		